

みあさづくり



4年ぶりに開催 大町美麻ロードレース大会

2023年大町美麻ロードレース大会が、文部科学大臣杯第78回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(インカレ)として、9月3日(日)に開催されました。

猛暑の中、4年ぶりの大会に全国から179名(男子163名、女子16名)の選手が集結し、大観衆の声援の中、1周13.4kmのコースを、男子は13周(174.2km)、女子は5周(67km)走り順位を競いました。

ロードレース大会は、地区内外の60名以上のボランティアの皆さんからコース整理員、インターネットライブ中継、出店協力等にご協力いただき無事に行われたことに、心から感謝申し上げます。(実行委員会 事務局)

インターネットライブ中継で美麻地区をPR

美麻地域づくり会議が行っているレースのインターネットライブ配信は今回で14回目となりました。今回は、初めて学生自転車競技連盟と共同で実施しました。地上6局+車載カメラ+ドローンを使って7時30分から7時間以上の配信を行い、再生回数は1万3千回超となり、配信を通じてたくさんの方に美麻地区のPRができたと思います。

★ YouTubeでは、録画映像をご覧ください。アドレスは、
<https://www.youtube.com/watch?v=L6gRHr6aV-E>



QRコードはこちら

QRコードを読んでパソコンやスマホでもご覧ください。

ホームページ
美麻Wiki



facebook





4年ぶりとなる大町やまびこまつりが8月5日(土)に開催されたに、美麻からは約40名が参加し久しぶりに大きな声をだし、笑顔いっぱい楽しんでいました。キッチンカーでは花豆ソフトクリームやジビエ(鹿肉)料理等を販売し、多くの方に地域の特産品のPRができました。また、恒例となっている間伐材を利用した足湯にも多くの方から利用いただきました。(事業部会長 北沢 孝一)

待ちわびた大町やまびこまつり

抱っこしていたちいさな娘も祭りを楽しめる年齢になり、やまびこ祭に参加しました。楽しみだった反面、久しぶりのやまびこ音頭やサンバは練習でもなかなか体が動かず、加えて激しい雷雨に、始まる前から不安でいっぱいでした。しかし不思議なもので、美麻の法被をまとい、音楽がスタートすれば気持ちもたかぶり、雨も感じない大好きなお祭りのスタートとなりました。美麻連は源流太鼓のメンバーも加わり、賑やかなどこよりもお祭りを盛り上げる連となり、踊っていても楽しく2時間があっという間に過ぎました。

子供たちもそれぞれに踊りや雰囲気を楽しんでいる様子が私にとっても嬉しく、今でも故郷の盆踊りは目をつぶっても踊れる私のように、ずっとわくわくする場所や時間であってほしいなと思いました。

途中のエネルギー補給の準備、そして楽しい時間を共有していただいた皆様ありがとうございました。(新行 根本薫)

初めて参加しました

去年は開催されず行くことのできなかったやまびこ祭り。今年は息子が始めた美麻源流太鼓の方達との参加で家族そろって踊ることが出来ました。コロナでイベントが中止になりお祭りなどに行く機会が減っていましたが、久しぶりの賑わいにワクワクした気持ちになりました。

子ども達も地域の方や友達と踊ったりリアカーを引っ張ったり、太鼓を叩いたり楽しい夏の思い出の一つになったようです。移住して来た方達も気兼ねなく参加できる地域のお祭り。家族みんな楽しい時間を過ごせました。

来年は踊りをしっかり覚えて参加したいなと思います。(二重 村山順子)

今を楽しむ。祭りを楽しむ!

大町やまびこまつりは直前の夕立で、集合時間になるまで車内で待機していたが6時過ぎには雨も止んで虹が出ていました。

今年は、バスの送迎はなく参加者ごと合同庁舎に集合をしました。リアカーの飾りつけは今回も児童クラブの有志の子供が、黒部60周年の企画で書いた透明の「しずく」を作り沢山ぶら下げました。おどる前にはまずは腹ごしらえ、おにぎりを食べ、元気の出る飲料を飲み準備は万端です。美麻連は先頭にプラカードを持った1年と2年の子供を先頭に美麻源流美麻太鼓の太鼓隊、その後に参加者が大声を出しておどりました。どの顔も今を楽しんでいい顔をしていました。(青具 田中裕子)

鹿革づくりWORKSHOPを開催

地域で捨てられている鹿皮の活用を図るため、ゼロから始める鹿革づくりワークショップを開催したところ、地区内外から8名の参加をいただき、7月29日からワークショップが始まり

ました。およそ半年間をかけて、鹿革づくりと有害鳥獣対策の現状を学んでいただく内容です。今後も定期的に募集を行うので、興味のある方はご参加ください。（一社）地域づくり美麻

美麻の鹿皮でポシェットが作りたい



漠然とした夢が、鹿皮を舐めるところからできるという、凝り性の私にはこれ以上ないワクワクするワークショップ。想像もつかないまま幼い娘を付き合わせ、実際に見るリアルな鹿皮の姿や臭いに最初は正直2人で少し鹿皮と距離を置いていました。

なかなか鹿皮に近づけない娘を横に置き、始めこそ手間取りましたがコツを掴めば鶏皮を削ぐような要領であったという間に夢中になりました。ふと気づくと着ていたワンピースをお腹にインして手袋をした娘の姿。その後は二人での楽しい作業となりました。

参加者同士の会話にも花が咲き、娘ともお揃いのポシェットを作る夢も話しながら想像するだけで楽しくなります。

作業だけでなく、こどもたちと話す「一物全体」。自然の恵をありがたく残さず丸ごといただくことが思いがけず実践でき、とても貴重な体験でした。今後も続くワークショップが楽しみです。

（参加者 根本 薫）

工場見学に参加して

脱脂作業をした鹿皮を9月6日に飯田市の工場に「鹿革作りを体験できるの!？」とワクワクして参加した鹿革作りワークショップ。1回目のワークショップは、原皮の裏面に付いている脂肪をとる作業で、とても根気のいる作業でした。

約一週間後、長野県で唯一の革タンナー「メルセン」の工場見学に参加。皮から革になるまでの全工程を見学し、働いている方たちの職人技に思わず見とれつつ、作業工程の多さと作業内容の大変さを実感しました。工場内で革製品も製造しているそうで、モノ作りの裏側も覗かせてもらいました。

工場見学を通し、本来なら破棄されてしまう皮を無駄にせず活かす皮革製造は、動物の命を最後まで無駄にすることなく活かせるとても重要な産業だと感じました。

最後に、メルセン社長のお話をお聞きし、尽きないモノ作りへの探求心と情熱に終始感動しっぱなしでした。これからも長野県唯一のタンナーとして、素晴らしいモノ作りを続けていってほしいです。

自分たちが暮らす地域で捕獲された鹿がカタチを変えて生活の一部になることで、自然に「モノを大切にしなくちゃ」という気持ちになります。そんなきっかけを与えてくれる地域産業として大きな可能性のある「美麻の鹿革作り」、今後の展開に期待しています。（参加者 岩倉寛子）



自分の鹿皮を納品



製造工程を見学



革張り作業を体験

～参加申し込みはこちらから～

**鹿革づくり
WORKSHOP**

9/29, 10/29, 11/29
のコースを募集中

対象年齢 18歳以上
募集人数 各コース5名
参加費 3,000円
～25,000円

会場:道の駅ほかほかランド美濃ほか



<https://onLbz/iYv4dLW>

道の駅で夏のイベントを開催

ニクの日&よつとくれフェア&美麻市

道の駅活性化事業を7月29日（土）に、ニクの日、よつとくれフェア、美麻市を合同で開催しました。「源流美麻太鼓」の演奏で華々しくスタートし、屋外では、猟友会の鹿肉からあげ店、美麻ベーカリーのパン販売、ニクの日の飲食ブース出店があり、屋内では、鹿革や木工

のワークショップ、美容室や古式マッサージが出店、涼をとっていただく「冷水場」も賑わいました。夕方からは、ほかほかランド美麻による「ピヤガーデン」がオープンするなど、多くの方に夏の暑い一日を楽しんでいただきました。（事業部会長 北沢孝一）



よつとくれフェア・美麻市7月29日に開催されました。今年はニクの日のイベントと同時開催になり様々なワークショップ等が開かれる中、地域づくり会議の一員として私達源流美麻太鼓も参加させていただきました。当日は晴天、イベント日和となりましたがとにかく暑い！しかも屋外でのパフォーマンスだったのでメンバーの体調を気遣いながらの演奏になりましたがお客様の温かい応援に支えられ無事役割を果たす事ができました。

地域のイベントは、日頃お世話になっている皆様に練習の成果を見ていただける最高の機会であり我々の活動の根幹を成すものであります。

今後も美麻の盛り上げ役として精力的に活動してまいります。引き続き応援よろしくお願い致します。（源流美麻太鼓）

ニクの日で 心も体もリラックス

てのひらやは週末開催の時だけ出店ですが、今回で3回目の出店となり、だいが感じがつかめてきました。今回は、3つのイベントの同時開催ということで、イベント感盛り盛り、木工や熊鈴作りなど地元ならではのワークショップも

充実するなか、個人的に目を引いたのが鹿革づくりのワークショップです。5・6枚の鹿の革が美遊の前に並べられた景色は相当なインパクト。ぜひ銀座でもこの光景を見てみたい！そんな妄想をよそに参加者の方は、真剣に鹿革のなめしに取り組んでいました。

ワークショップの最後には革加工会社（飯田：メルセン）の社長の話もあり、革を取り巻く話題も興味深いものでした。

あ！マッサージも多くのお客様に来ていただき、楽しくやらせていただきました！花まめやさん始めスタッフのみなさまありがとうございました。（大塩 てのひらや 齋藤英毅）





美麻地区子ども会育成協議会主催のラフティング体験が8月3日に親子で参加しました。
人気のイベントということで、定員一杯の40名

ほどがバスで、八坂の犀川に向かいました。着替えを済ませ、注意事項を確認し、チームに分かれます。白馬ライオンアドベンチャーの若いガイドさんと子どもたちは、すでに意気投合。めちゃくちゃ盛り上がるなか出発！今年は水がとても澄んでいて、天気も最高でした。ポートからひんやりとした川に落ちてみたり、チーム対抗でパドルを使って水をかけあったり、サギや崖の地層を見たり、子どもたちの笑顔がはじけ、大人も存分に楽しみました。大町市にこんなに素敵な場所があり、雄大な自然に触れることができること改めて実感しました。

このような貴重な経験をさせていただき、企画・引率して下さったみなさん、本当にありがとうございました。(大塩 青島亜莉沙)

イワナつかみに大歓声

美麻公民館では8月5日、犀川殖産美麻支部と「青具を元気にする会」の協力のもと、丸切沢川（青具・丸切沢遊砂地）でイワナつかみ体験を開催し、美麻小中学生とその兄弟姉妹、保護者等約50人が参加しました。

猛烈な暑さの中、子どもたちは我先にと川に入り、保護者からも「ほらっ、そこ！足元！」などと叫び熱が入りました。最初はつかむのに苦労していましたが、徐々に要領を得て楽しんでいました。

関係者に指導いただきイワナをさばくことにも挑戦した子ども達は、上手にさばけ満足気でした。さばいたイワナは塩焼きにして、昼食として味わうと「うめえ、もっと食べたい」と皆言いながら頬張り味を堪能しました。



参加した保護者は「自然の中で子どもたちがはしゃいで楽しんでいる姿を見られて本当に良かった。来年もぜひやって」と話しました。

(美麻公民館)

笑顔の中にも熱戦！！

美麻地区夏季球技大会が8月20日、美麻小中学校で開かれました。コロナ禍でできなかった、ソフトバレーボールが4年ぶりに復活。グラウンドゴルフと合わせ、青山綾子さんの「二日後にくるであろう筋肉痛にも恐れることなく精一杯戦う」という力強い選手宣誓後に、小学生から高齢者まで80人以上が和気あいあいと交流を楽しみながらプレーしました。実行委員長の江津貞夫さんは「徐々に顔を見て話ができただけの人もいた。とても良い交流の機会になった」と汗を拭いながら話しました。大会結果は次のとおりです。

▼ソフトバレーボール 優勝：新行、準優勝：千見ワイルドカード、3位：二重

▼グラウンドゴルフ団体の部、
優勝：千見アルパトロス、準優勝：青具A、3位：二重。

▼グラウンドゴルフ個人の部
優勝：小林薫(千見)準優勝：若林光勇(青具)3位：小林茂敏(千見)



コミュニティ・スクールのお話

2学期がスタート

美麻小中学校の2学期始業式が8月21日（月）に行われ、4年生の代表と8年生が、全校の前で2学期の目標を堂々と発表をしました。2学期は、梨の木祭をはじめ多くの行事があります。行事や日々の学校生活の中で、それぞれの目標を意識し、一步一步前へ進んでいきます！（文責：吉岡 伸）



寄付をいただきました



今年、美麻地区敬老会と地区文化祭で講演会の講師をお願いした美麻地区出身の黒岩 卓夫先生とご家族が、講演会に先立ち8月27日に美麻小中学校の見学にお越しになりました。

これに合わせて医療法人社団萌気会から学校に多額のご寄付をいただきました。仲原校長より「子どもたちの教育のために大切にに使わせていただきます。」とお礼を申し上げました。

黒岩卓夫先生は、高地若栗のご出身で現在86歳、新潟県南魚沼市（旧大和町）での長年の医療活動を通じて、今では当たり前となっている地域医療（保健・医療・福祉の連携の中で医療を行う）の仕組みを確立されたパイオニアとして有名な方です。

9月27日には美麻地区敬老会、10月22日には地区文化祭において、ご夫妻で講演をしていただく予定です。

働くとは？職場体験(8/24・25日)

7年生は美麻地区の4か所で職場体験を行いました。美麻地区の皆さんにお世話になり、農業、接客、メニューの試作など5人それぞれが「働く」という経験をさせていただきました。生徒は美麻の事業所の皆さんに親身になって「働く」ということを教えていただきました。ほとんどの生徒の感想が「楽しかった！」ということで、今回は「働く」楽しさを学んできたようです。将来へつながる第一歩になりました！（文責：7年担任 嶺村亜矢）

8年生は大町市内の12事業所で、職場体験学習を行いました。今回させていただいた貴重な体験を通して「働く」ということについて見つめることができました。この体験での学びを、日々の学校生活で活かしたり、これからの自分の将来について考える一助にしたりしていきます。（文責：8年担任 吉岡 伸）



ほかほかランドでの体験



太田農園(常盤)での体験



美郷での体験



美麻珈琲での体験

地域課題を共有するための意見交換会を開催

地域づくり委員会※では、地域の課題の解決を市政に反映させるため、初めて、地域づくり会議役員との意見交換会を6月27日(火)に開催し、地域づくり活動を通じた解決が必要と感じている課題について説明いただき、情報共有を図りました。今後、出された課題について地域づくり委員会として検討を行い、市として解決が必要なものについては、市に対して提言を行います。
(美麻支所総務係)

共有された地域課題等

- ▼ 老朽化の著しい道の駅美遊前外トイレの早期建替やトイレの施設管理改善について
- ▼ 美遊の改修や道の駅周辺一帯の観光振興のための整備について

- ▼ 市内唯一の道の駅ほかほかランド美麻の管理形態や、良好な施設維持に必要な管理費用の見直しを含めた検討について
- ▼ 空き家の有効活用を図り、移住者の住居確保に繋げるための、市の施策の拡充について
- ▼ 市民農園の利用促進や施設の設置目的に沿った地域間交流促進の必要性について
- ▼ 小さな拠点形成事業の運営体制確立に向けた支援の必要性について
- ▼ 老朽化したケーブルテレビ網の早期整備着手について

※地域づくり委員会は、市町村合併後の旧村地域(美麻地区・八坂地区)の意見を市政に反映させるため、市長が設置した諮問機関です。

大町市辺地総合整備計画を策定

市では、市の中心部から地理的に離れ交通条件やその他諸条件に恵まれない地域(美麻・八坂地域)と市内他地域との暮らしの差をなくすため「大町市辺地総合整備計画」を策定することにより、国から財政的な支援を得ながら道路や水道などの公共インフラの整備が可能となります。6月27日に計画の内容について地域づくり委員会と地域づくり会議役員の皆様へ説明をしたところ、「現在の計画は、八坂の事業が多いの

では」との意見をいただきましたが、この計画は、毎年見直しを行いながら、今後、地域に必要な整備に繋げて参りますので、ご理解をお願いします。

計画には令和5～7年度までに進める29の事業が盛り込まれています。美麻地区では、
▼市道万中片岡線、市道本村境の宮線及び市道一宇田線の道路維持管理事業
▼公営簡易水道施設の整備事業
▼CATV網光化対策事業
▼学校給食施設環境整備事業
が搭載されています。(美麻支所総務係)

大町市辺地総合整備計画については、市議会だより大町191号に次のように掲載されています。

議案第36号
大町市辺地総合整備計画の策定について

**大町市辺地
総合計画策定**

■結果 全会一致で可決

議案の概要

市辺地に関わる公共的施設の総合整備のため、有利な財源である辺地対策事業債を活用するための計画策定

委員会審査

Q 辺地対策事業債は、どのような事業に優先して活用するのかな。
A 道路維持事業をはじめ、八坂診療所移転新築事業、簡易水道整備事業、CATV網光化対策事業などのハード事業に活用し、辺地地区以外の地域は過疎対策債の活用を検討していく。

注1 辺地、交通条件やその他諸条件に恵まれない山間地等

道の駅トイレの整備について

老朽化が進む道の駅美遊前の外トイレは、利用者からの不満の声、地域のイメージダウンを心配するといった意見を以前よりいただいております。

8月21日(月)にトイレの具体的な改修について、地域の皆様からご意見をいただく意見交換会を美麻公民館講堂で開催しました。

意見交換会では、美麻支所建替時と同様に、

検討委員会を設け、道の駅施設として、一体的な有効活用を可能とする整備を進める事が望ましいなどの貴重なご意見をいただきました。

今後、道の駅整備に関する検討委員会を設け、道の駅全体の整備方針を検討し、整備に繋げて行きたいと考えております。地域の皆様におかれましては、引き続きのご協力をお願いいたします。(美麻支所産業建設係)

メンドシーノ芸術交流プログラム始まる 訪問団による5月メンドシーノ渡航から4カ月、現地でお世話になった4名の方と、メンドシーノ芸術家3名が、芸術と工芸をめぐるふたつの町の国際交流展で来日し、メンドシーノ姉妹都市交流実行委員会でご来日された皆さんへ随行などのお手伝いをしました。2008年に、大町・松本・安曇野一体の作家と、メンドシーノの芸術家が芸術文化振興と芸術文化による地域の新たな可能性を求め交流展が始まり、今年で16年目を迎える芸術展となっています。

交流展は、市内ギャラリーいいづら(9月15日～10月1日まで入館10:00～17:00 定休火・木)、庵寓舎(9月15日～9月18日)で開催され、多くの皆さんが芸術と工芸作品の鑑賞に訪れていました。
メンドシーノ姉妹都市交流実行委員会事務局



令和5年度先進地視察研修参加者募集

参加申込フォーム



「カーボンニュートラル」という言葉をご存じですか？2050年までに、地球上の温室効果ガスの排出量をゼロにすることが目標です。そのためには、私たちが生活する地球を守るために、二酸化炭素などの温室効果ガスを出さないようにすることが大切だと言われています。



今回、美麻地区に有り余っている「木」をテーマに、カーボンニュートラルとエネルギーの地域内循環について学ぶ研修会を計画しましたので、ご参加ください。

① 10/23木曽コース

- ▼日時 10/23(月) 午前7:30～午後5時30分(予定)
- ▼視察先
 - ① 木曽町役場庁舎
地域材と木質バイオマスボイラーの活用
 - ② 木曽おもちゃ美術館
木工、木育、ふるさと体験ができる美術館
- ▼募集人数 18名(※定員に達し次第締切)
- ▼参加費 2,000円/人(資料代、入場料等)
※昼食代は参加者負担となります。
- ▼申込期限 10月11日(水)

② 11/7白馬コース

- ▼日時 11/7(火) 午前9:00～12時(予定)
- ▼視察先
 - ペンション イルボスコ
自然エネルギーを施設で利用する仕組みをDIYで作りに上げている取り組み
- ▼募集人数 8名(※定員に達し次第締切)
- ▼参加費 100円/人(資料代等)
- ▼申込期限 10月18日(水)

※研修の詳細は、参加者に別途通知します。

<お問合せ、申し込み> 美麻地域づくり会議事務局 美麻支所総務係
Tel.0261-29-2311 / Fax 29-2333 / e-mail miasa-soumu@city.omachi.nagano.jp

参加者募集
参加無料

■令和5年度長野県地域元気づくり支援金助成事業 ■協力 美麻地域づくり会議

10月9日(月) 午前10時～12時
〔少雨実施〕

古民家リビルディング・ワークショップ

美し村開拓プロジェクト



今回は、家財道具等の搬出・不用品の仕分け等が主な作業となります。

気に入った物があればお譲りします。※運搬はご自身でお願いします。

- ▶ 募集人数 15名程度
※定員に達し次第締め切ります。
- ▶ 対象年齢 18歳以上の方
※未成年者は保護者同伴で参加できます。
- ▶ 参加費 無料
- ▶ 持ち物等 汚れてもよい服装
軍手、長靴、マスク、帽子、ヘルメット(お持ちの方)、ゴーグル、タオル、水筒など

▶ 申し込み方法

専用フォームまたは、メール、電話(下記)から申し込んでください。

Mail
1syamiasa@gmail.com

Tel. 29-2311 (地域づくり会議) 又は
080-8048-5667 (地域づくり美麻)



希望に満ちたいい笑顔 ～ これからの活躍が楽しみです。～

大町市では成人式に代わる「二十歳の門出」が8月15日(火)に市文化会館で開催されました。美麻地区からは9人(全市322人)の皆さんが二十歳の節目を迎えられました。

～ 成人を迎えて ～

二十歳という節目の年を迎えられることができ、今まで支えてくれた両親や見守ってくださった地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。久しぶりに中学時代の友達と会って話すことができました。部活での苦楽を共にした仲間と話したり、将来のことを話すなど、とても楽しい時間でした。今後は、いつまでも感謝を忘れず、自分の行動に責任を持ち、自分の目標に向かって努力し達成できるように頑張りたいです。

青具 安松三礼



参加者提供写真

～二十歳の子と美麻のあたたかさ～

市主催の集いに参加し、数年ぶりに再開の顔。スーツやドレスに着飾られた成人の姿には成長の刻印が顔に刻まれ、各々の充実ぶりがオーラから伝わってきた。美麻小中学校に縁のある8名の記念写真は私にとっての宝物。その笑顔が微笑ましい。

翌日には大塩の自宅で集いに参加できなかったものを含めBBQをすることができた。笑い声がなんとも懐かしい。中には6年生の1年限りの子も美麻に帰ってくる。直近3ヶ月で美麻に縁のある子、全員と会うことができた。

よりよい美麻を願い「花MAME株式会社」で力をつけてきた子たち。多くの方とふれあい、学んだ日々が「ふるさと」として深くそれぞれの心に刻まれている。

美麻小中学校7～9年当時の担任 横手 健二

美麻の口碑伝説 ～十八～

「おおてんぐこしか 大天狗腰掛けの松」

(今回は二重の話)

木にまつわる話である。
二重地区から高知地区へ越える峰を「折越」と言っている。

昔、一人の百姓が、近くの畑で働いていると風がちっとも吹かないのに、大きな山鳴りがした。びっくりして顔を上げて峰の方に目をやると、見る間に峰の一本の松がねじ曲がった。それは、大天狗が空を飛んできて、松の枝に腰かけたからであった。それ以来、その松の木を「大天狗腰掛けの松」と呼ぶようになった。その松を傷つけたり、枝を切ったりするとたたりがあった。

今でもその木に傷をつけたり、枝を拾って焚いたりすると、病むか死ぬか、けがをされると言われている。

(北安曇郡郷土誌稿、美麻村誌より)

*折越(おりこし)
地図にはない
が現在の若栗
あたり



有害鳥獣被害対応について(お願い)

美麻支所では、農作物を荒らす有害鳥獣(サル、シカ、クマ、イノシシ、など)に対し、市農林水産課・美麻地区猟友会・美麻地区有害鳥獣追払い隊等と連携して被害低減に取り組んでおり、電動エアー銃・動物駆逐用煙火での追払いやワナ・捕獲檻等を設置し対応しています。
(美麻支所産業建設係)

▼追払い隊の皆様による活動

近所の方の通報を受けた場合や、各隊員が田畑等でサルを見かけたらエアー銃と花火を併用で追払いを実施しています。サルの出没には周期がありますが、いつでも追払いができるように充電や使用方法を確認して対応に備えています。

▼有害鳥獣による農作物被害は、支所産業建設係(電話29-2311)へご連絡ください。

▼クマの人的被害が予想される場合(家の庭先、通学路等で見かけた等)は、市役所危機管理課(電話22-0420)または、美麻支所(電話29-2311)へご連絡ください。

煙火消費保安手帳(動物駆逐用煙火)取扱い講習会の開催について

有害鳥獣の追払いに使用する花火(動物駆逐用煙火)の取扱い講習会を実施します。

この煙火は大きな音が出る専用の花火で、取扱いには資格が必要となります。地区内で29名の方が資格を所持し追払い活動を行っていただいています。

▼日時 令和5年11月10日(金)

午後6時30分から約1時間30分程度

▼場所 美麻支所公民館 講堂

▼講師 公益財団法人日本煙火協会より派遣

▼資格 20歳以上の方(*資格取得後は、毎年更新講習会への参加が必要です。)

▼講習料: 2,700円

▼持ち物: 免許証用写真(3cm×2.5cm)1枚

▼申込期限 令和5年10月19日(木)

<お問合せ、申し込み>

美麻地域づくり会議事務局 美麻支所総務係

Tel 29-2311 Fax 29-2333

e-mail:miasa-soumu@city.omachi.nagano.jp

美麻地区文化祭の開催(お知らせ)

◆開催日時

令和5年10月22日(日)8:30~15:00

◆会場

美麻公民館、美麻総合福祉センター梨嶺

◆主な内容

展示会、ステージ発表、フリーマーケット、美麻小中学校7・8・9年生による総合学習発表

*午後13:00~黒岩卓夫先生の講演会

*黒岩先生の略歴は、今回各戸配布したご案内通知をご覧ください。

<お問合せ> 美麻地区文化祭実行委員会事務局:美麻公民館 tel29-2311

花豆集荷のお知らせ

令和5年度産花豆を出荷をいただける方は下記までご連絡をください。

※出荷いただいた豆はサイズごとに、一般社団法人地域づくり美麻で買取りさせてさせていただきます。

<お問合せ、申し込み>

美麻地域づくり会議事務局 美麻支所総務係

Tel 29-2311 Fax 29-2333

e-mail:miasa-soumu@city.omachi.nagano.jp

■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info